

# 妊婦の皆さんへ

ご自身のため  
赤ちゃんのため  
新型コロナウイルス  
ワクチンを接種しましょう！



妊娠中に新型コロナウイルスに感染すると、特に妊娠後期では重症化しやすいとされています。

多くの接種経験がある海外の妊婦に対するワクチン接種に関する情報では、妊娠初期を含め妊婦さんとおなかの赤ちゃん双方を守るとされています。

妊娠10ヶ月に入ってから感染が確認されると帝王切開になる可能性が高くなります。

妊婦が感染する場合の8割は夫又はパートナーからの感染です。妊婦の夫又はパートナーも是非ワクチンを接種してください。

## ワクチンの接種場所

- かかりつけの医療機関（ワクチン接種を実施していない医療機関もあります。）
- 市町村の集団接種会場
- 愛知県が設置する大規模集団接種会場

このたび、愛知県では妊婦（夫又はパートナーを含む。以下同じ。）がワクチン接種を希望する場合、県の大規模集団接種会場において、予約の有無に関わらず、ワクチン接種を受けられることとなりました。

ただし、接種に当たっては、あらかじめかかりつけ医に接種の相談をしていただくことを前提とします。（医師の承諾文書の提出は不要ですが、予診時の確認のため、母子手帳やお薬手帳等の持参をお願いします。）

大規模集団接種会場については  
こちらから（愛知県HP）

<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/wakuchin-daikibokajou.html>



コロナワクチンナビは  
こちらから（厚生労働省）

<https://v-sys.mhlw.go.jp/>



ワクチン接種後も、これまでどおり感染予防策を続けましょう。



マスクをしましょう！



手を洗いましょう！



人混みを避け、できるだけ  
家で過ごしましょう！